

本のタイトル

ふしぎな駄菓子屋

● 銭天堂 ●

本を書いた人

廣嶋玲子

ふしぎな駄菓子が沢山売られている銭天堂。
このお店は誰でも入れるわけではありません。
その日の"幸運のお金"を持つ人しか、お店を
見つけることすらできない、そんなお店です。
銭天堂の主人は紅子。ふっくらしていて、
白い髪に沢山のかんざしをさしています。
紅子はいいます。



「お客様の悩みは、なんでござんしょ?」
そう聞かれた客は、自分の意思に関係なく
望みを話してしまいます。紅子は望みの
駄菓子をわたすと、必ず、こうつぶやくのです。

「中に紙が入っているから、それをよく読んで
ください。ようござんすね? かならずでござんすよ?」
説明書を読まずに食べてしまうと...

幸せになるのも、不幸になるのも全てはあなた次第。
表紙はかわいく、文字も大きいです。「中学生・高校生が
読むにはちょっと...」と思わず手にとって、めくってみて
ください。物語に引き込まれていきますよ。

投稿日

年

月

日



ペンネーム

ひかりん

年齢

14